

『坊ちゃん』における指示詞「その」「あの」の表現効果
 — 中国語版・韓国語版と対照して —

**On the Expressive Effect of the Demonstratives (*sono* and *ano*)
 in *Botchan* ; By Contrasting with the Chinese and Korean versions**

金井勇人ⁱ・河正一ⁱⁱ・金聖実ⁱⁱⁱ

KANAI Hayato, HA Jeongil and KIM Shengshi

(要旨)

本稿では、文学作品における名詞修飾を行う「その」「あの」の表現効果を考察した。夏目漱石『坊ちゃん』を資料に、その中国語版および韓国語版との対照を行った。まず、中国語の指示詞（这・那）との対照を通して、前方照応の「その」は「無標の前方照応」と「疎外的な前方照応」の2つの機能を持つことを論じた。次に、韓国語の指示詞（그・저）との対照を通して、記憶指示の「あの」は「無標の記憶指示」と「捉え直しの記憶指示」の2つの機能を持つことを論じた。

キーワード：坊ちゃん、表現効果、指示詞「その」「あの」、前方照応、記憶指示、日中対照、日韓対照

1. はじめに

前方照応は主にソ系の指示詞によって行われるが、このソ系の前方照応には「無標の前方照応」と「疎外的な前方照応」がある。このことについて、中国語の指示詞（这・那）と対照しながら詳細に論じる。また記憶指示はア系の指示詞によって行われるが、このア系の記憶指示には「無標の記憶指示」と「捉え直しの記憶指示」がある。このことについて、韓国語の指示詞（그・저）と対照しながら詳細に論じる。以上の分析は、夏目漱石『坊ちゃん』を資料とし、同小説の中国語版および韓国語版と対照しながら進めていく。

2. 先行研究、および議論の準備

2-1 現場指示

(表 1) 現場指示における 3 言語の対応

	近称	中称	遠称
日本語	コ	ソ	ア
韓国語	이	그	저
中国語	这	那	
	+近称	-近称	

ⁱ 埼玉大学 人文社会科学部 教授

ⁱⁱ 埼玉大学 日本語教育センター 非常勤講師

ⁱⁱⁱ 埼玉大学 人文社会科学部 修士課程修了生

諸言語の指示詞の体系には、2系列と3系列がある。日本語と韓国語は3系列、中国語は2系列である。現場指示の用法に基づいて、これら3言語の指示詞を対応させると、表1のようになる。

2-2 非現場指示

現場指示における各指示詞の性質は、非現場指示に受け継がれる。以下、近称による親近的な照応、中称による前方照応、遠称による記憶指示について、順次、確認していく。

2-2-1 親近的な照応

あたかも眼前にあるかのような親近感を伴って先行詞（あるいは後行詞）を指す用法を、本稿では「親近的な照応」と呼ぶ。親近的な照応には、コ系・这系・이系が用いられる。

- (1) 私の友だちは、とてもストレスがたまっています。この友だちは、ストレスがたまると、運動のために、アパートの階段を上ったり下りたりしています。（留学生の作文より）

この 友達 ある ストレス の なら
(1c) 这个 朋友, 有 压力 的 话, ... (cは中国語を表す。以下同)

この 友だちは ストレスが たまると
(1k) 이 친구는 스트레스가 싸이면, ... (kは韓国語を表す。以下同)

2-2-2 前方照応

先行詞を単純に照応させる用法は「前方照応」と呼ばれる。前方照応には、ソ系・那系・ゴ系が用いられる。ソ系による前方照応には、コ系による照応とは異なり、指示対象に対する（あたかも眼前にあるかのような）親近感は伴わない。

- (2) 私の友だちは、とてもストレスがたまっています。その友だちは、ストレスがたまると、運動のために、アパートの階段を上ったり下りたりしています。

その 友達 ある ストレス の なら
(2c) 那个 朋友, 有 压力 的 话, ...

その 友だちは ストレスが たまると
(2k) 그 친구는 스트레스가 싸이면, ...

2-2-3 記憶指示

文面上の先行詞ではなく、話し手の記憶内にある対象を指す用法は、「記憶指示」と呼ばれる。記憶指示には、ア系・那系・ゴ系が用いられる。

- (3) A：この間、一緒に行ったレストラン、おいしかったね。
B：そうだね。あのレストラン、また一緒に行こうね。^{iv}

私 たち また 行く あの 軒 レストランね
(3c) 我 们 再 去 那 家 餐 馆 吧。

^{iv} Bの「(あの) レストラン」は、Aの「(一緒に行った) レストラン」と照応するのではなく、(Aと) Bの記憶内にある「レストラン」を直接的に指している。

あの レストラン また 一緒に 行こうね
 (3k) 그 레스토랑 다시 같이 가 게.

日本語では原則的に、話し手（書き手）と聞き手（読み手）との共有知識でなければア系で指せない（久野 1973 参照）が、そのような制約は中国語・韓国語には存在しない。^v

ここで2点、注意しておきたいことがある。

1つめは、中国語における前方照応は、-近称の那ではなく、+近称の这によって無標的に行われる、ということである（王 2007）。このことについては、4-1 で詳述する。

この 友達 ある ストレス の なら
 (2c)' 这个 朋友, 有 压力的 话, ...

2つめは、韓国語では中称の그가（中国語の那と同じように）前方照応と記憶指示の両方を受け持つ、ということである（3k）。ただし遠称の저も、記憶指示の用法を持つ。「あの輝かしい百済の文化！」のような「百科事典的知識であり、具体的には歴史上有名な人物や文化遺産に関する知識」である対象は、저で指すことができる（金 2006:108）。このことについては、5-2 で詳述する。

あの 輝かしい 百済の 文化
 (4) 저 빛나는 백제 문화!

以上をまとめて、3言語の基本的な対応について確認しておく（金井・河・金 2018 も参照）。

(表 2) 非現場指示における 3 言語の対応（簡略版）

	親近的な照応	前方照応	記憶指示
日本語	コ	ソ	ア
韓国語	이	그	저
中国語	这	那	

3言語の指示詞の対応は、前方照応と記憶指示において複雑に入り組んでいる。以下では、この前方照応と記憶指示における指示詞の対応を、文学作品『坊ちゃん』に現れる具体例をもとに分析していく。

3. 「この」の表現効果

コ系（この）による指示は「親近的な照応」を行う。

(5) 取り換えて来て上げますからと、どこでどう胡魔化したか札の代りに銀貨を三円持って来た。この三円は何に使ったか忘れてしまった。(坊ちゃん)

^v 黒田 (1979) によれば、共有知識でなければア系で指せないのは、聞き手が対象を知らないことに配慮して、話し手が自身の記憶内にある対象として指すことを抑制する、という語用論的な方略である。したがって、聞き手への配慮を度外視すれば「君、あのレストランを知らないのか!」のように、共有知識でなくてもア系で指せる。

おれ 忘れた この 三 円 何 使った
(5c) 我 忘记 这 三元钱 干 什么 用了。

おれ は この 3 円 を どこ に 使った か 忘れて しまっ た
(5k) 나 는 인 3 엔 을 어디 에 썼는 지 기억하지 못 한다.

(5)の「この三円」は、先行詞の「(銀貨の) 三円」を、あたかも眼前にあるかのような親近感とともに指している。(5c)(5k)も、同様である。ただし本稿では、「親近的な照応」については3言語間に大きな差異を認めないため、これを取り上げることはしない。

4. 「その」による前方照応 (日中対照)

4-1 無標の前方照応

- (6) ところへ御座敷はこちら？ と芸者が三四人這入って来た。おれも少し驚ろいたが、壁際へ押し付けられているんだから、凝として只見ていた。すると今まで床柱へもたれて例の琥珀のパイプを自慢そうに啣えていた、赤シャツが急に起って、座敷を出にかかった。向から這入って来た芸者の一人が、行き違いながら、笑って挨拶をした。その一人は一番若くて一番綺麗な奴だ。(坊ちゃん)
- (7) 「厄介だね。渾名の付いてる女にや昔から碌なものは居ませんからね。そうかも知れませんよ」
「ほん当にそうじゃなもし。鬼神のお松じゃの、姐妃のお百じゃのてて怖い女が居りましたなもし」
「マドンナもその同類なんですかね」
「そのマドンナさんがなもし、あなた。そらあの、あなたを此処へ世話を御くれた古賀先生なもし——あの方の所へ御嫁に行く約束が出来ていたのじゃがなもし——」(坊ちゃん)

(6)の「その一人」は先行詞の「芸者の一人」との、(7)の「そのマドンナさん」は先行詞の「マドンナ」との同一性を確実にするため、「その」が付加されている。これが「前方照応」の基本的な機能である。

しかしもう1つ、「その」には「テキスト的意味の付与」という機能がある。それについて庵(2007)は次のように述べている。

- (8) 「その」はテキスト送信者が先行詞を定情報名詞句へのテキスト的意味の付与という観点から捉えていることを示すマーカである。(庵 2007:103)

(9)の「結婚」は、単なる「結婚」ではなく、「自分の知りうる周りの社会で誰もがしている」というテキスト的意味が付与された「結婚」である。このように「その結婚」には、テキスト的意味が付与されている。

- (9) 人々にとっては結婚することは自分の知りうる周りの社会で誰もがしていることであり、その結婚は必ずしも最愛の人としなければならないものであるとは限らなかった。

(JCK 作文コーパス ; j07-2)

(6)の「その一人」は、単なる「芸者の一人」ではなく、「向から這入って来た」というテキスト的意味が付与された「芸者の一人」を意味する。また(7)の「そのマドンナさん」は、単なる「マドンナ」ではなく、

「渾名の付いてる怖い女の同類」というテキスト的意味が付与された「マドンナ」を意味する。

前方照応の本務は、先行詞を後行文脈に継承していくことである。したがって、先行文脈に現れた先行詞を、当該文脈における特有の意味を保持したまま指さなければならない。このようなソ系によって「テキスト的意味を付与する」指示を、本稿では「無標の前方照応」と呼ぶことにする。

それでは、中国語において「無標の前方照応」を行うのは、どの指示詞だろうか。まず、これはテキスト的意味を付与することができるという。

- (10) 中国語の「那（その）」にはこうしたテキスト的な意味を表す機能はなく、そうした機能を担うのは「这（この）」である。(庵・張 2007:36)

そして、日本語のソ系をどのように翻訳するかという観点からも、次のように考察される。

- (11) 単純に「文脈承前」を表す場合は、むしろ“这”のほうがより原文の意味に近い。(中略) 単純な承前なら“这”のほうが自然である(王 2007:87)

それは、中国語のルールが「先行する対象を照応させる場合、通常いまの話題対象として扱っているので、たいてい“这”を用いる(同 84)」というものだからである。つまり、日本語では近称による照応は有標的な指し方だが、中国語ではそうではないわけである。^{vi}

以上から、中国語における「無標の前方照応」は这によって行われる、ということが了解される。^{vii}

- (6c) 和 门 外 进 来 的 一 个 艺 妓 擦 肩 而 过 时 ， 艺 妓 笑 着 向 他 打 招 呼 。 这 家 伙 最 年 若 的 ， 又 最 漂 亮 。

- (7c) “玛丽亚 也 是 一 路 货 色 吧 ？”

この マドンナ 本来 ある 約束 に 前 嫁に行く 古賀 先生 です 紹介 あなた 着く ここ 来る の
“这 玛丽亚， 本来 有 约 在 先， 要嫁给 古賀 先生——就 是 介绍 你 到 这 儿 来 的
古賀 先生
古賀 先生——”

日本語と同様、(6c)の「这家伙（このやつ）」には「向から這入って来た」という、(7c)の「这玛丽亚（このマドンナ）」には「渾名の付いてる怖い女の同類」というテキスト的意味が、それぞれ付与されている。

^{vi} 中国語では「いまの話題対象として」指示する先行詞のうち、（文脈等の要請によって）特に強く話題化されるものが、有標的な意味での「主題」として扱われるのだと考えられる。

^{vii} そのため、中国語母語話者による日本語作文では、这からの母語干渉によって、本来「その」を用いた方が自然である箇所でも「この」を用いる、という傾向が見られる（金井 2017）。

4-2 疎外的な前方照応

(12) 「何で私に辞表を出せと云わないんですか」

「へえ？」と狸はあっけにとられている。

「堀田には出せ、私には出さないで好いと云う法がありますか」

「それは学校の方の都合で...」

「その都合が間違ってます。私が出さなくて済むなら堀田だって、出す必要はないでしょう」

(坊ちゃん)

(13) ところが生憎うらなり君の方では、うまい具合にこっちの調子に乗ってくれない。何を云っても、

えとかいえとかざりで、しかもそのえといえが大分面倒らしいので、仕舞にはとうとう切り上げて、

こっちから御免蒙った。(傍点は原文) (坊ちゃん)

(12)の「都合」、(13)の「えといえ」は、「その」で指されている。中国語訳では、どうなっているか。

によると 学校 側 都合
(12c) “根据 校方 情况 ……”

その 都合 です 間違ってる もし 私 できる ない 提出 辞表 では 堀田 ない だ も ない この 必要
“那 情况 是 错 的 。 如果 我 可以 不 提出 辞 呈 ， 那么 堀田 不 是 也 无 此 必要 了

か
吗？”

ても おれ 言う 何 だけだ うん うん 答えた しかも その うん 字 も よう 言った とても 無理 しまいに
(13c) 不管 我 说 什么 ， 只是 “嗯 ， 嗯” 作答 ， 而且 那 “嗯” 字 也 似乎 说的 很 勉强 ， 最后

おれ も しかない やめた ない 二度と 開く 口
我 也 只 好 算 了 ， 不 再 开 口 。

(12c)の「情况 (都合)」、(13c)の「嗯 (えといえ)」は、+近称の这ではなく、-近称の那で指されている。これは、どのようなニュアンスを伝えるのだろうか。

(14) 飛行機が着地を完了すると禁煙のサインが消え、天井のスピーカーから小さな音でBGMが流れ始めた。それはどこかのオーケストラが甘く演奏するビートルズの「ノルウェイの森」だった。

(村上春樹「ノルウェイの森」より) (王 2007:86)

(14)の「それ」を那と訳すと、先行詞の「BGM」を「話し手から少し離れたところにあるモノとして捉えているニュアンス (王 2007:87)」だという。前方照応の那には、現場指示における-近称の性質が、受け継がれているわけである。

(12c)では、「私」の「情况 (都合)」に対する心理的な遠さが、那によって表出されている。その結果、あくまで「学校の場合 (都合)」であって「私」には関係ない、と突き放すニュアンスとなる。また、(13c)では、「嗯 (えといえ)」しか返ってこない「うらなり君」に対する心理的な遠さが、那によって表出されている。その結果、語り手 (おれ) が苛々しているニュアンスを醸し出せる。

このような「心理的な遠さ」を表す指示を、本稿では「疎外的な前方照応」と呼ぶことにする。日本語で

は形態的な差異が見られないが、ソ系は「無標の前方照応」と「疎外的な前方照応」の2つの機能を兼ね備えているわけである。

(表3) 前方照応の日中対照

	無標の前方照応	疎外的な前方照応
日本語	ソ	
中国語	这	那

【無標の前方照応】

(6) その一人が一番若くて一番綺麗な奴だ。

(7) そのマドンナさんがなもし、あなた。

【疎外的な前方照応】

(12) その都合が間違ってるなあ。

(13) しかもそのえといえが大分面倒らしいので、...

5. 「あの」の表現効果 (日韓対照)

5-1 無標の記憶指示

(15) 「あの時承知したのは、古賀君が自分の希望で転任すると云う話でしたからで...」

「古賀君は全く自分の希望で半ば転任するんです」

「そうじゃないんです、ここに居たいんです。元の月給でもいいから、郷里に居たいのです」

(坊ちゃん)

(16) 昔し小学校へ行く時分、浅井の民さんと云う子が同級生にあったが、この浅井のおやじがやはり、こんな色つやだった。浅井は百姓だから、百姓になるとあんな顔になるかと清に聞いてみたら、そうじゃありません、あの人はうらなりの唐茄子ばかり食べるから、蒼くふくれるんですと教えてくれた。(坊ちゃん)

(15)の「あの時」は、話し手と聞き手の共有知識である「古賀君が自分の希望で転任すると云う話」が出た時を指している。また、(16)の「あの人」は、語り手(おれ)と「清」の共有知識である「浅井」を指している。韓国語訳では、どうなっているか。

あの時私が承知したのは古賀君が自分の希望で転任するという話でした
 (15k) 그 때 제가 승낙한 것은 고가 씨가 자기 희망으로 전근한다고 말씀하셨기
 からで
 때문인데 ...

あの人はうらなりの唐茄子ばかりを食べるから蒼くふくれるんですと教えてくれた
 (16k) 그 사람은 끝물호박을 먹어서 푸르스름하게 부은 거라고 가르쳐 주었다.

「古賀君が自分の希望で転任すると云う話」が出た時、および「浅井」を、韓国語では記憶指示の그で指し

ている。ただし韓国語の場合は、話し手と聞き手の共有知識であることは使用条件ではなく、話し手の記憶内に存在する対象であれば（聞き手の記憶内に存在しなくても）ユで指せる（2-2-3も参照）。

このようなア系による記憶指示は、聞き手との記憶共有の確認や、話し手自身の郷愁の表出などを目的とする。これを「無標の記憶指示」と呼ぶことにする。

5-2 捉え直しの記憶指示

(17) 「そのマドンナさんがなもし、あなた。そらあの、あなたを此処へ世話をして御くれた古賀先生なもし——あの方の所へ御嫁に行く約束が出来ていたのじゃがなもし——」

「へえ、不思議なもんですね。あのうらなり君が、そんな艶福のある男とは思わなかった。人は見懸けによらないものだな。ちっと気を付けよう」（坊ちゃん）

(18) 「先生は月給が御上りのかなもし」

「上げてやるって云うから、断わろうと思うんです」

「何で、御断わりなのぞなもし」

「何でも御断わりだ。御婆さん、あの赤シャツは馬鹿ですぜ。卑怯でさあ」（坊ちゃん）

(17)(18)では、記憶内の「うらなり君」「赤シャツ」を「あの」で指している。しかし「あの」の付加は、指示対象の特定だけを目的とするのであれば、実は不要である。

(17)' へえ、不思議なもんですね。(φ) うらなり君が、そんな艶福のある男とは思わなかった。人は見懸けによらないものだな。

(18)' 何でも御断わりだ。御婆さん、(φ) 赤シャツは馬鹿ですぜ。卑怯でさあ

このように「あの」がなくても、指示対象の特定に支障はない。それでは、なぜ(17)(18)では、わざわざ「あの」を付加して、簡潔ではない指示をするのだろうか。

このような簡潔ではない指示の仕方は、例えば Grice の「様態の格率 (maxim of manner)」に違反している (Grice1975 参照) ため、語用論な推論を発動させる。つまりそれは、

“今まで我々が知らなかった側面が披瀝された「うらなり君 (地味な男→艶福のある男)」や「赤シャツ (人格者→馬鹿で卑怯)」は、それまで我々の記憶内にあった彼らと果たして同一人物なのだろうか” という疑念を、「あの」による同一性の確保によって解消しようとしている

というものだろう。つまり、このような描き方をあえて行うことによって、新たな側面が披瀝された「うらなり君」や「赤シャツ」に対して登場人物たちが感じる意外性を演出しているわけである。より具体的に言えば、(17)では話し手自身が感じる意外性を表出しているのに対して、(18)では「御婆さん」が感じているであろう意外性を（話し手が成り代わって）表出している。

このような用法を、指示対象の新たな側面を捉え直すという意味で、「捉え直しの記憶指示」と呼ぶことにする。日本語では「無標の記憶指示」と「捉え直しの記憶指示」には、どちらもア系が用いられるが、韓国語では異なる指示詞が用いられる。

(17k) へえ 不思議な もん ね です あの うらなり 先生 が そんな 女性 に 愛 される 艶福 のある
 헤에, 묘 한 일이군요. 저 끝물 선생님 이 그런 여자 에게 사랑 받는 행복 한

男 とは 思わなかつた ね です
 남자일 줄 은 몰 랐 군요.

(18k) お婆さん あの 赤 シャツ は 馬鹿 ぜ です 卑怯 で さあ です
 할머니, 저 빨강 셔츠 는 바보 라니까요. 비겁 하다 니 까 요.

ここでは、中称の 그 ではなく、遠称の 저 が用いられている。その意図は、前述のように「捉え直し」による意外性の演出である。

그 も 저 も、どちらも記憶内の対象を指示できるが、その含意は異なる。 그 は記憶内の対象を客観的に、 저 は感情的に指示すると考えられる。この性質の違いが、(15k)(16k)と(17k)(18k)における使い分けに現れる。つまり、 그 は「無標の記憶指示」に、 저 は「捉え直しの記憶指示」に、と分化するのである。^{viii}

日本語でも、形態的な差異は見られないが、ア系は「無標の記憶指示」と「捉え直しの記憶指示」の2つの機能を兼ね備えていると考えられる。

(表 4) 記憶指示の日韓対照

	無標の記憶指示	捉え直しの記憶指示
日本語	ア	
韓国語	그	저

【無標の記憶指示】

(15) あの時承知したのは、古賀君が自分の希望で転任すると云う話でしたからで...

(16) あの人はうらなりの唐茄子ばかり食べるから、...

【捉え直しの記憶指示】

(17) あのうらなり君が、そんな艶福のある男とは思わなかつた。

(18) 御婆さん、あの赤シャツは馬鹿ですぜ。

6. まとめ

本稿では「その」「あの」による名詞修飾の表現効果について、文学作品（坊ちゃん）を資料に用いて、中国語・韓国語の指示詞と対照しながら、詳細に分析した。本稿で得られた結論を、以下に整理する。

(19) その： a. 無標の前方照応 テキストの意味を付与する。

b. 疎外的な前方照応 先行詞に対する心理的な遠さを表す。

(20) あの： a. 無標の記憶指示 聞き手との記憶共有の確認や、話し手の郷愁の表出など。

b. 捉え直しの記憶指示 ... 新たな側面を披歴された対象への意外性の表出など。

^{viii} 記憶指示の 그 と 저 については、河・金井（2017）も参照。また、先に見た金（2006）の指摘にある“歴史的対象を指す 저 ”と、本稿で論じている“捉え直しの 저 ”との関係については、稿を改めて詳細に論じる予定。

このように各指示詞は複数の機能を持つが、日本語だけを見ていると、同一形態であるために実態が見えにくい。しかし、他言語（中国語・韓国語）と対照することで、複数の機能が見えてくる。これらの機能が、文学作品（坊ちゃん）上で効果的に働いていることを、本稿では考察した。^{ix}

最後に、2-2-3 で提出した表 2 を詳細化しておく。

(表 5) 非現場指示における 3 言語の対応 (詳細版)

	親近的な照応	前方照応		記憶指示	
		無標	疎外	無標	捉直
日本語	コ	ソ		ア	
韓国語	이	그			저
中国語	这	那			

(ただし「这」による「無標の前方照応」は「親近的な照応」の性質を保っている)

参考文献

- 庵功雄 (2007) 『日本語におけるテキストの結束性の研究』くろしお出版
- 庵功雄・張麟声 (2007) 「日本語と中国語の「冠詞」についての覚書」『一橋大学留学生センター紀要』10, pp.29-36
- 王亜新 (2007) 「文脈指示における日本語と中国語の指示詞の相違—日文中訳作品の実例分析」『東洋大学紀要 言語と文化』4, pp.83-98
- 金井勇人 (2017) 「流れがスムーズになる指示詞の選び方」石黒圭編『現場に役立つ日本語教育研究 3 わかりやすく書ける作文シラバス』pp.99-118, くろしお出版
- 金井勇人・河正一・金聖実 (2018) 「日本語との対照を通して諸言語の指示詞の特徴をみる—中国語・韓国語・ロシア語・タイ語をとりあげて」『埼玉大学日本語教育センター紀要』12, pp.15-26
- 金善美 (2006) 『韓国語と日本語の指示詞の直示用法と非直示用法』風間書房
- 久野暉 (1973) 『日本文法研究』大修館書店
- 黒田成幸 (1979) 「(コ)・ソ・アについて」『林栄一教授還暦記念論文集 英語と日本語と』pp.41-59, くろしお出版
- 河正一・金井勇人 (2017) 「記憶指示の「저」についての一考察」朝鮮語教育学会 (第76回例会, 於近畿大学) 発表資料, 2017.12.17
- Grice, P. (1975). "Logic and conversation." In P. Cole and J.L. Morgan (eds.). *Syntax and Semantics, vol. 3: Speech acts*. New York: Academic Press.

引用資料

夏目漱石『坊ちゃん』新潮文庫

中国語版：林少华訳『哥儿』中国宇航出版社

韓国語版：육후연訳『도련님』인디북

JCK 作文コーパス (日中韓母語話者による日本語作文コーパス) <http://nihongosakubun.sakura.ne.jp/corpus/>

^{ix} 他の翻訳版において、本稿で考えているのとは異なる指示詞を対応させるということは、当然あり得る。それは（良くも悪くも）翻訳者のセンスによるだろう。しかしそうであれ、ソ系とア系の機能として (19ab) (20ab) の4種を主張する本稿の論旨は、些かも変わることはない。